

# SURF trial 学術講演会アンケート集計結果

2010/11/22 パシフィコ横浜

配布数 100 回答数 38

## 1. SURF trial について

以前から内容含めよく知っていた 23      名前だけ知っていた 10      今日初めて知った 5

## 2. 本学術講演会全体の印象についてお答えください。

分かりやすかった 30      普通 7      難しかった 0

## 3. SURF trial の主旨・症例の適応基準の分かりやすさについてお答えください

よく理解した 25      概ね理解した 10      正確には理解していない 2      全くわからない 0

## 4. 先生方の施設と SURF trial の関連についてお答えください

すでに試験に参加している 21      今後参加を検討したい 5      関係する可能性はない 9

## 5. 質問4. で本試験と「関係する可能性がない」と回答された先生に：宜しければその理由をお書きください。

- ・ 症例数が少ない . . . . . 4
- ・ 内科が RFA できない . . . . . 1
- ・ 医師でない . . . . . 1

## 6. SURF trial 遂行に際しての問題点や IC 取得率向上のための方策について先生方のご意見をお聞かせください。

- ・ 数多くの患者に話していくしかない
- ・ 患者が治療法を決めてくることが多い。RFA が多く、適応外が肝切除。
- ・ 開業医の先生には依頼していないのか？
- ・ 内科からの紹介時に治療方針が既に決められている



13. SURF trial の意義について、どう思われますか。

大変有意義    多少意義はある    無意味    わからない  
4 7                      2 1                      0                      6

14. SURF trial への参加について。

是非参加したい    場合によっては参加したい    参加しない    わからない    現在、治療中  
1 7                      4 0                      8                      2                      1

15. 参加するとして、不安に思うとすれば、どのようなことでしょうか。

- ・やはりランダムな点が不安
- ・ trial の期間中、結果がある程度判明した時、自分のやっている治療以外の方法が良い場合でも、治療方法を変えにくくなる点はないか不安。
- ・現在の状態（自分）2回治療し倦怠感あり。
- ・希望する先生が治療（手術）してくれるのか心配。
- ・ランダム割り付けでは、治験を受ける者が本当に不利にならないのか？
- ・身勝手かもしれないが、プラセボ群に入れられること。
- ・検証データを知りたい。
- ・多中心性発がんの可能性から考えると第一選択はラジオ波（可能であれば）になるのでは？
- ・再発しやすいかどうか。
- ・今回説明を聞いたことにより、不安に思うことはないです。
- ・お任せできると思います。
- ・参加することの内容がいまひとつわからない。クランケや家族は何をすれば良いのか教えて下さい。
- ・どのくらい続くのか不安。
- ・施設毎の成績の違いがあるのでは？
- ・医療費の軽減がないこと。
- ・外科と内科の垣根がとれるといいですね。
- ・どのように振り分けを行うのか、複数の医師で判断すると思うが？ 現在、通院している病院が SURF に参加していない。
- ・どの治療法にしても、どの医師にあたるのか、個人の技量の成果が示されるのかどうか不安。参加基準の年間 20 例（手術、RFA）の治療成績はどのようになっているのかわかりにくい。

16. 臨床試験の参加のご経験についてお知らせください。

経験なし    経験あり  
4 3                      4

参加した感想

- ・とても良かった
- ・薬剤の治験審査委員として参加
- ・試験参加者には若干何かのメリットを与えた方がよい。

- ・15年位前に参加。インターフェロンを朝1600ml、夜1600ml打ち、体全体が死人のようになってしまい、主人がびっくりした。その後、現在に至り、一年半前に癌切除。今はベータを打っている。(ベータ100ml 強ミノ100mg 週3回)

17. その他、ご意見・ご要望がございましたらお書きください。

- ・RFAと外科治療の比較をする意味はどんなところにあるのか、今ひとつわからない。再発率、生存率ともあまり変わらないのに。客観的比較の為とすれば意味が大きいものとは受け取れない。
- ・進行した肝疾患に対する早期の効率的治療法の確立
- ・主治医とその時々(肝癌治療)十分話し合いが出来るので、ラジオ波か肝動脈塞栓術に決めるか理解出来るので主治医を信頼している。
- ・第1回目講演会を知らず残念。
- ・600例の目標で、現在60例あまりは少ないので、都内数カ所で開催講演会を行ってはいかがか。
- ・早くC型肝炎に有効な薬の開発をお願い致します。いつの間にか肝炎になっていた。
- ・治療法の最前線ではもっとお話を聞きたかった。
- ・國土先生が話して下さったことが一番聞きたかったことですが、「SURFをやって外科と内科がよく話すようになった。医者の熱意が患者を動かしている。」という話は非常に良いと思う。そういう医療体制になってほしいし、そういうお医者さんが増えてほしい。
- ・このような講座には出来るだけ参加して理解を深めなければならないとつくづく思い知らされました。
- ・急性肝炎から慢性肝炎に移行して24年になり(B型)、SURF trialの言葉自体を初めて知った。東京肝臓友の会の会員ですが、このような治療方法をより多く情報を多種に渡って広報願いたい。
- ・B型キャリアだとは随分前からわかっていましたが、まさか自分が、と呑気に過ごしてきました。癌が見つかって改めて肝炎肝癌について勉強しています。医学薬学の進捗はめざましく、日夜献身される先生方、研究者の方々に頭が下がります。何か少しでもお役に立つことができますなら、SURFに参加したいと思います。
- ・C型肝炎12年、ウイルスがなくなる。現在、ペガシス90 2週間毎に86回済み。チラージンS25を(甲状腺低下気味の為)飲んでいる73歳。
- ・私は88歳直前。クランケの妻は76歳。肝移植を申し出たら60歳までと言われて失望した。なんともならないものか。全体として一般市民向けの話として分かり易く面白かった。
- ・一般の人への説明会は大変大切だと思います。これからも是非数多く開催して下さい。
- ・関係のない事なのかもしれませんが、私は現在B型肝炎で、ゼフィックス、ヘプセラを数年服用してきましたが、今度、ヘプセラとバラクルードに替えるということで、先月より服用を開始しました。しかし、先日の通院の際に、今度はバラクルードだけにしてみようかと言われ、びっくりしました。服用し始めたばかりで、バラクルードだけにという事は試験的にするという事だと思えます。何度も入院しているので、もう入院したくないと思っておりますのでとても怖いです。危険を伴わない治療はないと思いますが、試す事は怖いです。私は腹水がたまったり、胃潰瘍にもなっているので余計に怖いです。SURF trialに関しては自分の希望にならないのが不安。
- ・質問時間が長いと良い。
- ・ランダム化比較試験の意義はそれなりに理解できました。
- ・高山先生のお話は分かり易かった。

以上

III. 研究成果の刊行に関する一覧表－書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Theise ND, Curado MP, Franceschi S, Hytioglou P, Kudo M, Park YN, Sakamoto M, Torbenso M, Wee A	Hepatocellular carcinoma.	Fred T. Bosman, Fatima Carneiro, Ralph H.Hruban, Neil D. Theise	WHO Classification of Tumours of the Digestive System (Blue Book)	WHO Press World Health Organization.	Geneva, Switzer- land	2010	205 -216
畑中絹世, 工藤正俊	造影エコー検査	幕内雅敏, 工藤正俊, 菅野健太郎	今日の消化器疾患 治療指針 第3版	医学書院	東京	2010	153 -159
井上達夫, 工藤正俊	肝細胞癌のスクリーニング と診断	幕内雅敏, 工藤正俊, 菅野健太郎	今日の消化器疾患 治療指針 第3版	医学書院	東京	2010	646 -648
上嶋一臣, 工藤正俊	肝細胞癌の治療方針	幕内雅敏, 工藤正俊, 菅野健太郎	今日の消化器疾患 治療指針 第3版	医学書院	東京	2010	706 -707
南康範, 工藤正俊	膵癌の診断と治療方針・ 疼痛対策	幕内雅敏, 工藤正俊, 菅野健太郎	今日の消化器疾患 治療指針 第3版	医学書院	東京	2010	773 -776
工藤正俊	肝悪性腫瘍	金澤一郎	今日の診断指針 第6版	医学書院	東京	2010	768 -777
建石良介, 泉並木, 金子周一, 工藤正俊	肝癌早期発見のための スクリーニング法	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	29 -31
工藤正俊, 井上達夫, 村上卓道	肝癌の診断 画像診断 どのようときに Gd-EOB-MRIを行うか	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	38 -40
工藤正俊	肝癌の診断 画像診断 どのようときに 造影超音波を行うか	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	43 -49
松井修, 工藤正俊, 高安賢一, 神代正道	肝癌の診断 画像診断 早期肝癌の 画像的特徴	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	49 -52
泉並木, 工藤正俊, 松井修	肝癌の診断 肝癌診断のアルゴリズム 多血性肝細胞癌の診断 アルゴリズム	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	53 -56

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
工藤正俊, 泉並木, 松井修	肝癌の診断 肝癌診断のアルゴリズム 乏血性肝細胞性結節(境界病変, 異型結節, 早期肝癌)はどのような場合に治療すべきか	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	56 -59
工藤正俊	肝癌の治療 肝癌診療のための ステージングシステム	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	65 -67
南康範, 工藤正俊	肝癌の治療 肝癌治療の実際 内科的局所治療 ラジオ波焼灼療法RFAの適 応と除外基準 造影超音波下 RFA	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	86 -88
工藤正俊	肝癌の治療 肝癌治療の実際 全身化学療法と分子標的 治療	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	109 -113
工藤正俊	肝癌治療のアルゴリズム TACE不応例に対する 治療指針	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	118 -121
工藤正俊	肝癌治療のアルゴリズム 肝動注化学療法と分子標的 治療薬をどう使い分けるか	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	121 -122
工藤正俊, 幕内雅敏, 國土典宏, 田中正俊, 川崎誠治, 高安賢一, 松井修, 泉並木, 大崎往夫	肝癌治療のアルゴリズム 肝癌全体の治療アルゴリズム	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	122 -127
工藤正俊	肝癌治療後のフォローアップ の仕方 肝癌根治後の再発抑制治療	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	143 -144
工藤正俊, 泉並木	肝癌治療後のフォローアップ の仕方 肝癌根治的治療後の再発の 早期発見	日本肝臓学会	肝癌診療マニュアル 第2版	医学書院	東京	2010	145 -147
上田泰輔, 鄭浩柄, 工藤正俊	C型肝炎 肝癌治癒後にインターフェロ ン投与行ったが肝癌の再発 が認めた症例	工藤正俊, 泉並木	ウイルス肝炎の 治療戦略	診断と 治療社	東京	2010	154 -157
工藤正俊	序説	工藤正俊	肝細胞癌の 分子標的治療	アーク メディア	東京	2010	2 -3

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
工藤正俊, 池田公史, 古瀬純司, 沖田極, 有井滋樹	特別座談会 肝細胞癌の分子標的治療	工藤正俊	肝細胞癌の 分子標的治療	アーク メディア	東京	2010	9 -31
工藤正俊	ソラフェニブによる進行肝癌 の治療: その有効性・副作用対策と 将来展望	工藤正俊	肝細胞癌の 分子標的治療	アーク メディア	東京	2010	88 -100
工藤正俊	肝細胞癌のシグナル伝達系 と分子標的治療	工藤正俊	肝細胞癌の 分子標的治療	アーク メディア	東京	2010	101 -117
工藤正俊	第1回日本肝がん分子標的 治療研究会を振り返って, 肝細胞癌の分子標的治療	工藤正俊	肝細胞癌の 分子標的治療	アーク メディア	東京	2010	129 -131
上嶋一臣, 工藤正俊	ソラフェニブによりCR となった進行肝細胞癌の 2症例	工藤正俊	肝細胞癌の 分子標的治療	アーク メディア	東京	2010	135 -141
工藤正俊	序	工藤正俊, 山雄健次	見逃し,誤りを防ぐ! 肝・胆・膵癌 画像診断アトラス	羊土社	東京	2010	7
工藤正俊	肝癌	工藤正俊, 山雄健次	見逃し,誤りを防ぐ! 肝・胆・膵癌 画像診断アトラス	羊土社	東京	2010	14 -18
井上達夫, 工藤正俊	早期肝細胞癌	工藤正俊, 山雄健次	見逃し,誤りを防ぐ! 肝・胆・膵癌 画像診断アトラス	羊土社	東京	2010	86 -90
久保正二	肝細胞癌	渡辺昌彦, 國土典宏, 土岐雄一郎	消化器外科学 レビュー2010	総合医学社	東京	2010	75 -80
斎藤明子	細胆管細胞癌	工藤正俊, 山雄健次	見逃し,誤りを防ぐ! 肝・胆・膵癌 画像診断アトラス	羊土社	東京	2010	104 -108
大崎往夫	臨床との連携; 背景肝病変・臨床所見との 対比	中沼安二, 阪本亨宇	肝癌 —腫瘍病理鑑別 診断アトラス—	文光堂	東京	2010	214 -224
大崎往夫	肝細胞癌の早期発見	工藤正俊, 泉並木	症例から学ぶウイルス 肝炎の治療戦略	診断と 治療社	東京	2010	24 -28
大崎往夫, 田中正俊, 椎名秀一郎	ラジオ波焼灼療法	日本肝臓学会 岡上武	肝癌診療マニュアル	医学書院	東京	2010	79 -83

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
工藤正俊, 幕内雅敏, 國土典宏, 田中正俊, 川崎誠治, 高安賢一, 松井修, 泉並木, 大崎往夫	肝癌全体治療アルゴリズム	日本肝臓学会 岡上武	肝癌診療マニュアル	医学書院	東京	2010	122 -127
金秀基, 田邊渉, 日高健太郎, 塩川雅広, 平本秀二, 長谷川和範, 本庶元, 近藤雅彦, 西川浩樹, 三宅直樹, 早雲孝信, 大崎往夫	胸椎転移の伴った進行肝癌 に対してソラフェニブが有効 であった1症例	工藤正俊	肝細胞癌の 分子標的治療	アークメディア ア	東京	2010	196 -201
木村達, 竹田治彦, 大崎往夫	応用編 肝・胆・膵の画像診断ポイント 肝癌の画像所見と鑑別診断 肝血管筋脂肪腫	工藤正俊, 山雄健次	見逃し、誤りを防ぐ！ 肝・胆・膵画像診断 アトラス	羊土社	東京	2010	140 -153
金子弘真	腹腔鏡下肝切除術の 歴史と現況	肝臓内視鏡外科 監修 金子弘真, 若林 剛 編著	腹腔鏡下肝切除術	南山堂	東京	2010	1 -6
大塚由一郎, 土屋勝, 金子弘真	肝実質切離に用いる 手術器具	肝臓内視鏡外科 監修 金子弘真, 若林 剛 編著	腹腔鏡下肝切除術	南山堂	東京	2010	32 -38
大塚由一郎, 金子弘真	術式別の手術手技 左葉切除	肝臓内視鏡外科 監修 金子弘真, 若林 剛 編著	腹腔鏡下肝切除術	南山堂	東京	2010	55 -60
土屋勝, 金子弘真	術式別の手術手技 その他の術式	肝臓内視鏡外科 監修 金子弘真, 若林剛 編著	腹腔鏡下肝切除術	南山堂	東京	2010	85 -91
金子弘真	肝腫瘍に対する腹腔鏡下 肝切除術	上西紀夫, 後藤満一, 杉山政則, 渡邊昌彦	Digestive Surgery Now 11 腹腔鏡下肝切除術と 知っておきたい 高難易度肝切除	メジカル ビュー社	東京	2010	6
大塚由一郎, 土屋勝, 金子弘真	肝葉切除 —安全性に配慮した高難度 手術としての腹腔鏡下 肝切除術—	上西紀夫, 後藤満一, 杉山政則, 渡邊昌彦	Digestive Surgery Now 11 腹腔鏡下肝切除術と 知っておきたい 高難易度肝切除	メジカル ビュー社	東京	2010	41 -48



著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
石井淳, 大塚由一郎, 金子弘真	肝外側区域切除 — 定型化手術に向けた手技 の工夫—	上西紀夫, 後藤満一, 杉山政則, 渡邊昌彦	Digestive Surgery Now 11 腹腔鏡下肝切除術と 知っておきたい 高難易度肝切除	メジカル ビュー社	東京	2010	31 -40
前田徹也, 田村晃, 金子弘真	肝部分切除 — 適応拡大に向けた手技の 工夫—	上西紀夫, 後藤満一, 杉山政則, 渡邊昌彦	Digestive Surgery Now 11 腹腔鏡下肝切除術と 知っておきたい 高難易度肝切除	メジカル ビュー社	東京	2010	20 -30
久保田喜久, 大塚由一郎, 金子弘真	安全に実施するための 画像支援, 特殊器具, 手術のポイント	上西紀夫, 後藤満一, 杉山政則, 渡邊昌彦	Digestive Surgery Now 11 腹腔鏡下肝切除術と 知っておきたい 高難易度肝切除	メジカル ビュー社	東京	2010	6 -19
宇都宮徹, 島田光生, 居村暁	肝臓ハンギング法, 肝脱転	日本肝胆膵外科 学会高度技能 医制度委員会	肝胆膵高難度 外科手術	医学書院	東京	2010	56 -63
宇都宮徹, 島田光生, 居村暁, 森根裕二, 池本哲也, 花岡潤, 森大樹, 岩橋衆一, 齋藤裕	術中・術後のトラブルと 回避法 ガス塞栓	肝臓内視鏡 外科研究会	腹腔鏡下肝切除術	南山堂	東京	2010	104 -109
木原康之, 原田大	膵がんの疫学的特徴と 危険因子	産業医科大学 進路指導部 編集委員会	産業医のための ギモン・難問相談室 — 困ったときすぐに 役立つQ&A 150—	診断と 治療社	東京	2010	168 -169
原田大, 本間雄一, 日浦政明	肝細胞でのMallory-Denk体 形成の細胞生物学的意義	河田純男, 横須賀收, 工藤正俊, 榎本信幸	肝疾患Review 2010-2011	日本 メディカル センター	東京	2010	236 -239
原田大, 本間雄一, 佐藤みゆき, 香月友香	肝細胞のMallory-Denk体 形成における ケラチン8リン酸化の意義	小俣政男	分子標的薬 その作用機序と 効果予測	アーク メディア	東京	2010	167 -168
原田大, 原田理子, 本間雄一	ウイルソン病	向坂彰太郎, 孝田雅彦	遺伝性肝疾患	中外 医学社	東京	2010	19 -22
別府透, 近本亮, 馬場秀夫	第2章 術式別の手術手技 1) 部分切除, 腹腔鏡下肝切除術	肝臓内視鏡外科 監修 金子弘真, 若林剛 編著	腹腔鏡下肝切除術	南山堂	東京	2010	44 -50

III. 研究成果の刊行に関する一覧表－雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hasegawa K, <u>Kokudo N</u> , Shiina S, Tateishi R, Makuuchi M.	Surgery versus radiofrequency ablation for small hepatocellular carcinoma: Start of a randomized controlled trial (SURF trial).	Hepatol Res	40	851-852	2010
Hasegawa K, <u>Kokudo N</u> , Sano K, Makuuchi M.	Single HCC between 2 and 5 cm: the grey zone.	J Hepato-Biliary-Pancreat Sci	17 (4)	430-433	2010
長谷川潔, <u>國土典宏</u> , 建石良介, 椎名秀一朗, 幕内雅敏.	優劣の実証 -SURF Trailの構想－	Liver Cancer J	3 (2)	33-40	2010
Shindoh J, Imamura H, <u>Kokudo N</u> .	Isolated sling suspension during resection of the Spiegel lobe of the Liver: a safe alternative technique for difficult cases.	Hepato-Biliary-Pancreat Sci	17	359-364	2010
Shindoh J, Mise Y, Satou S, Sugawara Y, <u>Kokudo N</u> .	The intersegmental Plane of the Liver is Not Always Flat-Tricks for Anatomical Liver Resection.	Ann Surg	251 (5)	917-922	2010
Deng YB, Nagae G, Midorikawa Y, Yagi K, Tsutsumi S, Yamamoto S, Hasegawa K, <u>Kokudo N</u> , Aburatani H, Kneda A.	Identification of genes preferentially methylated in hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Cancer Sci		1-10	2010
Kyoden Y, Imamura H, Sano K, Beck Y, Sugawara Y, <u>Kokudo N</u> , Makuuchi M.	Value of prophylactic abdominal in 1269 consecutive cases of elective liver resection.	Hepato-Biliary-Pancreat Sci	17 (2)	186-192	2010
Kyoden Y, Imamura H, Sano K, Beck Y, Sugawara Y, <u>Kokudo N</u> , <u>Makuuchi M</u> .	Value of prophylactic abdominal drainage in 1269 consecutive cases of elective liver resection.	J Hepatobiliary Pancreat Sci	17 (2)	186-192	2010
Kyoden Y, Tamura S, Sugawara Y, Matsui Y, Togashi J, Kaneko J, <u>Kokudo N</u> , <u>Makuuchi M</u> .	Incidence and management of biliary complications after adult-to-adult living donor liver transplantation.	Clin Transplant	24 (4)	535-542	2010
Kishi Y, Imamura H, Sugawara Y, Sano K, Kaneko J, <u>Kokudo N</u> , <u>Makuuchi M</u> .	Evaluation of donor vasculobiliary anatomic variations in liver graft procurements.	Surgery	147 (1)	30-39	2010
Hasegawa K, <u>Kokudo N</u> , Sano K, <u>Makuuchi M</u> .	Single HCC between 2 and 5 cm: the grey zone: surgeon's perspective.	J Hepatobiliary Pancreat Sci	17 (4)	430-433	2010
Takayama T, <u>Makuuchi M</u> , Hasegawa K.	Single HCC smaller than 2 cm: surgery or ablation?: surgeon's perspective.	J Hepatobiliary Pancreat Sci	17 (4)	422-424	2010

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Makuuchi M</u> , Abe H.	Mini-mesohepatectomy for colorectal metastasis invading the middle hepatic vein at the hepatocaval confluence: educational video demonstrating IOUS use in modern hepatic surgery.	Ann Surg Oncol	17 (2)	356-357	2010
Tamura S, Sugawara Y, Yamashiki N, Kaneko J, Kokudo N, <u>Makuuchi M</u> .	Pre-emptive antiviral therapy in living donor liver transplantation for hepatitis C: observation based on a single-center experience.	Transpl Int	23 (6)	580-588	2010
Yamashiki N, Sugawara Y, Tamura S, Tateishi R, Yoshida H, Kaneko J, Matsui Y, Togashi J, Akahane M, <u>Makuuchi M</u> , Omata M, Kokudo N.	Postoperative surveillance with monthly serum tumor markers after living-donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma.	Hepatology Res	40 (4)	278-286	2010
Yamazaki S, Takayama T, <u>Makuuchi M</u> .	The technical advance and impact of caudate lobe venous reconstruction in left liver: additional safety for living-related donor liver transplantation.	Transpl Int	23 (4)	345-349	2010
Takayasu K, Arii S, Ikai I, Kudo M, Matsuyama Y, Kojiro M, <u>Makuuchi M</u> ; Liver Cancer Study Group of Japan.	Overall survival after transarterial lipiodol infusion chemotherapy with or without embolization for unresectable hepatocellular carcinoma: propensity score analysis.	Am J Roentgenol	94 (3)	830-837	2010
Inoue Y, Takahashi M, Arita J, Aoki T, Hasegawa K, Beck Y, <u>Makuuchi M</u> , Kokudo N.	Intra-operative freehand real-time elastography for small focal liver lesions: "visual palpation" for non-palpable tumors.	Surgery	148 (5)	1000-1011	2010
Mise Y, Imamura H, Hashimoto T, Seyama Y, Aoki T, Hasegawa K, Beck Y, Sugawara Y, <u>Makuuchi M</u> , Nakajima J, Kokudo N.	Cohort study of the survival benefit of resection for recurrent hepatic and/or pulmonary metastases after primary hepatectomy for colorectal metastases.	Ann Surg	251 (5)	902-909	2010
Takamoto T, Hashimoto T, Sano K, Maruyama Y, Inoue K, Ogata S, Takemura T, Kokudo N, <u>Makuuchi M</u> .	Recovery of liver function after the cessation of preoperative chemotherapy for colorectal liver metastasis.	Ann Surg Oncol	17 (10)	2747-2755	2010
Torzilli G, Donadon M, Montorsi M, <u>Makuuchi M</u> .	Concerns about ultrasound-guided radiofrequency-assisted segmental liver resection.	Ann Surg	251 (6)	1191-1193	2010
Orii R, Sugawara Y, <u>Makuuchi M</u> , Kokudo N, Yamada Y.	Anisocoria in liver recipients during the perioperative period: Two case reports.	Biosci Trends	4 (3)	148-150	2010

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kudo M, Kubo S, Takayasu K, Sakamoto M, Tanaka M, Ikai I, Furuse J, Nakamura K, <u>Makuuchi M</u> ; for The Liver Cancer Study Group of Japan (Committee for Response Evaluation Criteria in Cancer of the Liver, Liver Cancer Study Group of Japan).	Response Evaluation Criteria in Cancer of the Liver (RECICL) proposed by the Liver Cancer Study Group of Japan (2009 Revised Version).	Hepato Res	40 (7)	686 -692	2010
Hasegawa K, Kokudo N, Shiina S, Tateishi R, <u>Makuuchi M</u> .	Surgery versus radiofrequency ablation for small hepatocellular carcinoma: Start of a randomized controlled trial (SURF trial).	Hepato Res	40 (8)	851 -852	2010
Inagaki Y, Tang W, <u>Makuuchi M</u> , Hasegawa K, Sugawara Y, Kokudo N.	Clinical and molecular insights into the hepatocellular carcinoma tumour marker des- $\gamma$ -carboxyprothrombin.	Liver Int	31 (1)	22 -35	2011
Takemura N, Hasegawa K, Sugawara Y, Zhang K, Aoki T, Beck Y, <u>Makuuchi M</u> , Kokudo N.	Morphometric analysis of caudate veins for advanced liver surgery.	HPB (Oxford)	2 (9)	619 -624	2010
Togashi J, Sugawara Y, Tamura S, Yamashiki N, Kaneko J, Aoki T, Hasegawa K, Beck Y, <u>Makuuchi M</u> , Kokudo N.	Donor quality of life after living donor liver transplantation: a prospective study.	J Hepatobiliary Pancreat Sci		Epub ahead of print	2010
Ikai I, Kudo M, Arii S, Omata M, Kojiro M, Sakamoto M, Takayasu K, Hayashi N, <u>Makuuchi M</u> , Matsuyama Y, Monoden M.	Report of the 18th follow-up survey of primary liver cancer in Japan	Hepato Res	40	1043 -1059	2010
Goto E, Tateishi R, Shiina S, Masuzaki R, Enooku K, Sato T, Ohki T, Kondo Y, Goto T, Yoshida H, <u>Omata M</u> .	Hemorrhagic complications of percutaneous radiofrequency ablation for liver tumors.	J Clin Gastroenterol	44	374 -380	2010
Masuzaki R, Shiina S, Tateishi R, Yoshida H, Goto E, Sugioka Y, Kondo Y, Goto T, Ikeda H, <u>Omata M</u> , Koike K.	Utility of contrast enhanced ultrasonography with sonazoid in radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma.	J Gastroenterol Hepatol		Epub ahead of print	2010
Tsujino T, Sasahira N, Hirano K, Tateishi R, Isayama H, Tada M, Shiina S, Yoshida H, Kawabe T, <u>Omata M</u> .	Endoscopic management of biliocutaneous fistula after percutaneous radiofrequency ablation therapy for hepatocellular carcinoma.	Dig Endosc	22	53 -55	2010

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kondo Y, Shiina S, Tateishi R, Arano T, Uchino K, Enooku K, Goto E, Nakagawa H, Masuzaki R, Asaoka Y, Fujie H, Goto T, <u>Omata M</u> , Yoshida H, Koike K.	Intrahepatic bile duct dilatation after percutaneous radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma: impact on patient's prognosis.	Liver Int	31	197-205	2011
Takata A, Otsuka M, Kogiso T, Kojima K, Yoshikawa T, Tateishi R, Kato N, Shiina S, Yoshida H, Omata M, <u>Koike K</u> .	Direct differentiation of hepatic cells from human induced pluripotent stem cells using a limited number of cytokines.	Hepatol Int		in press	2011
<u>Koike K</u> , Miyoshi H, Yotsyanagi H, Moriya K.	Authors' reply to the Letters to the Editors.	J Hepatol		Epub ahead of print	2011
Kurano M, Iso-O N, Hara M, Noiri E, <u>Koike K</u> , Kadowaki T, Tsukamoto K.	Plant sterols increased IL-6 and TNF-alpha secretion from macrophages, but to a lesser extent than cholesterol.	J Atheroscler Thromb		Epub ahead of print	2011
Arano T, Nakagawa H, Tateishi R, Ikeda H, Uchino K, Enooku K, Goto E, Masuzaki R, Asaoka Y, Kondo Y, Goto T, Shiina S, Omata M, Yoshida H, <u>Koike K</u> .	Serum level of adiponectin and the risk of liver cancer development in chronic hepatitis C patients.	Int J Cancer		Epub ahead of print	2010
Miyoshi H, Moriya K, Tsutsumi T, Shinzawa S, Fujie H, Shintani Y, Fujinaga H, Goto K, Todoroki T, Suzuki T, Miyamura T, Matsuura Y, Yotsuyanagi H, <u>Koike K</u> .	Pathogenesis of lipid metabolism disorder in hepatitis C: polyunsaturated fatty acids counteract lipid alterations induced by the core protein.	J Hepatol		Epub ahead of print	2010
Masuzaki R, Shiina S, Tateishi R, Yoshida H, Goto E, Sugioka Y, Kondo Y, Goto T, Ikeda H, Omata M, <u>Koike K</u> .	Utility of contrast enhanced ultrasonography with sonazoid in radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma.	J Gastroenterol Hepatol		Epub ahead of print	2010
Kondo Y, Shiina S, Tateishi R, Arano T, Uchino K, Enooku K, Goto E, Nakagawa H, Masuzaki R, Asaoka Y, Fujie H, Goto T, Omata M, Yoshida H, <u>Koike K</u> .	Intrahepatic bile duct dilatation after percutaneous radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma: impact on patient's prognosis.	Liver Int	31	197-205	2011
Sakamoto A, Ishizaka Y, Toda EI, Nagai R, <u>Koike K</u> , Yamakado M, Ishizaka N.	Impact of Changes in Obesity Parameters on Glucose Metabolism and Insulin Resistance Over a One-Year Period.	J Atheroscler Thromb	17	1246-1255	2010

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ohtomo N, Tomiya T, Tanoue Y, Inoue Y, Nishikawa T, Ikeda H, Seyama Y, Kokudo N, Shibahara J, Fukayama M, <u>Koike K</u> , Shirataki H, Fujiwara K.	Expression of alpha-taxilin in hepatocellular carcinoma correlates with growth activity and malignant potential of the tumor.	Int J Oncol	37	1417 -1423	2010
<u>Koike K</u> , Tsutsumi T, Yotsuyanagi H, Moriya K.	Lipid metabolism and pathogenesis of liver disease in hepatitis C viral infection.	Oncology	78 Suppl 1	24 -30	2010
Tejima K, Masuzaki R, Ikeda H, Yoshida H, Tateishi R, Sugioka Y, Kume Y, Okano T, Iwai T, Gotoh H, Katoh S, Suzuki S, Yatomi Y, Omata M, <u>Koike K</u> .	Thrombocytopenia is more severe in advanced chronic hepatitis C than B with the same grade of splenomegaly.	J Gastroeterol	45	876 -884	2010
Ishizaka N, Ishizaka Y, Toda E, Yamakado M, <u>Koike K</u> , Nagai R.	Association between gamma-glutamyl transferase levels and insulin resistance according to alcohol consumption and number of cigarettes smoked.	J Atheroscler Thromb	17	476 -485	2010
Mizuno S, Hirano K, Tada M, Yamamoto K, Yashima Y, Yagioka H, Kawakubo K, Ito Y, Kogure H, Sasaki T, Arizumi T, Togawa O, Matsubara S, Nakai Y, Sasahira N, Tsujino T, Isayama H, Kawabe T, Omata M, <u>Koike K</u> .	Bezafibrate for the treatment of primary sclerosing cholangitis.	J Gastroenterol	45	758 -762	2010
Ikeda H, Ohkawa R, Watanabe N, Nakamura K, Kume Y, Okubo S, Yokota H, Tomiya T, Inoue Y, Nishikawa T, Ohtomo N, Tanoue Y, <u>Koike K</u> , Yatomi Y.	Plasma sphingosine 1-phosphate level is reduced in patients with chronic liver disease caused by hepatitis C.	Clin Chim Acta	411	765 -770	2010
Okuse C, Yotsuyanagi H, Yamada N, Okamoto M, Ikeda H, Kobayashi M, Fukuda Y, Takahashi H, Nagase Y, Suzuki Y, Matsunaga K, Ishii T, Matsumoto N, <u>Koike K</u> , Suzuki M, Itoh F.	Effect of nucleoside analogue-interferon sequential therapy on patients with acute exacerbation of chronic hepatitis B.	Hepato Res	40	461 -469	2010
Kanamori H, Yuhashi K, Ohnishi S, <u>Koike K</u> , Kodama T.	RNA dependent RNA polymerase of hepatitis C virus binds to its coding region RNA stem-loop structure, 5BSL3.2, and its negative strand.	J Gen Virol	91	1207 -1212	2010

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Moriya K, Miyoshi H, Shinzawa S, Tsutsumi T, Fujie H, Goto K, Shintani Y, Yotsuyanagi H, <u>Koike K</u> .	Hepatitis C virus core protein compromises iron-induced activation of antioxidants in mice and HepG2 cells.	J Med Virol	82	776-792	2010
Molina-Jiménez F, Benedicto I, Murata M, Martín-Vílchez S, Seki T, Pintor-Toro JA, Tortolero M, Moreno-Otero R, Okazaki K, <u>Koike K</u> , Barbero JL, Matsuzaki K, Majano PL, López-Cabrera M.	Expression of pituitary tumor transforming gene 1 (PTTG1)/securin in hepatitis B virus-associated liver diseases: Evidence for a hepatitis B virus X protein-mediated inhibition of PTTG1 ubiquitination and degradation.	Hepatology	51	777-787	2010
Hmwe SS, Aizakia H, Date T, Murakami K, Ishii K, Miyamura T, <u>Koike K</u> , Wakita T, Suzuki T.	Identification of hepatitis C virus genotype 2a replicon variants with reduced susceptibility to ribavirin.	Antiviral Res	85	520-524	2010
IWatanabe S, Enomoto N, <u>Koike K</u> , Izumi N, Takikawa H, Hashimoto E, Moriyasu F, Kumada H, Imawari M, PERFECT STUDY GROUP.	Prolonged treatment with PEG-IFN alpha-2b and ribavirin can improve SVR in chronic hepatitis C genotype 1 patients with late response in a clinical real-life setting in Japan.	Hepatol Res	40	135-144	2010
<u>Koike K</u> , Moriya K, Matsuura Y.	Animal models for hepatitis C and related liver disease.	Hepatol Res	40	69-82	2010
Goto E, Tateishi R, <u>Shiina S</u> , Masuzaki R, Enooku K, Sato T, Ohki T, Kondo Y, Goto T, Yoshida H, Omata M.	Hemorrhagic complications of percutaneous radiofrequency ablation for liver tumors.	J Clin Gastroenterol	44	374-380	2010
Masuzaki R, <u>Shiina S</u> , Tateishi R, Yoshida H, Goto E, Sugioka Y, Kondo Y, Goto T, Ikeda H, Omata M, Koike K.	Utility of contrast enhanced ultrasonography with sonazoid in radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma.	J Gastroenterol Hepatol		Epub ahead of print	2010
Tsujino T, Sasahira N, Hirano K, Tateishi R, Isayama H, Tada M, <u>Shiina S</u> , Yoshida H, Kawabe T, Omata M.	Endoscopic management of biliocutaneous fistula after percutaneous radiofrequency ablation therapy for hepatocellular carcinoma.	Dig Endosc	22	53-55	2010

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kondo Y, <u>Shiina S</u> , Tateishi R, Arano T, Uchino K, Enooku K, Goto E, Nakagawa H, Masuzaki R, Asaoka Y, Fujie H, Goto T, Omata M, Yoshida H, Koike K.	Intrahepatic bile duct dilatation after percutaneous radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma: impact on patient's prognosis.	Liver Int	31	197 -205	2011
<u>Hasegawa K</u> , Kokudo N, Shiina S, Tateishi R, Makuuchi M.	Surgery versus radiofrequency ablation for small hepatocellular carcinoma: Start of a randomized controlled trial (SURF trial).	Hepatol Res	40	851 -852	2010
<u>Hasegawa K</u> , Kokudo N, Sano K, Makuuchi M.	Single HCC between 2 and 5 cm: the grey zone.	J Hepato-Biliary- Pancreat Sci	17 (4)	430 -433	2010
長谷川潔, 國土典宏, 建石良介, 椎名秀一朗, 幕内雅敏.	優劣の実証 -SURF Trailの構想-	Liver Cancer J	3 (2)	33 -40	2010
Deng YB, Nagae G, Midorikawa Y, Yagi K, Tsutsumi S, Yamamoto S, <u>Hasegawa K</u> , Kokudo N, Aburatani H, Kneda A.	Identification of genes preferentially methylated in hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Cancer Sci		1 -10	2010
Takayasu K, Arii S, Ikai I, Kudo M, <u>Matsuyama Y</u> , Kojiro M, Makuuchi M for the Liver Cancer Study Group of Japan.	Overall survival after transarterial lipiodol infusion chemotherapy with or without embolization for unresectable hepatocellular carcinoma: Propensity score analysis.	Am J Roentgenol	194	830 -837	2010
<u>Matsuyama Y</u>	A comparison of the results of intent-to-treat, per-protocol, and g-estimation in the presence of non-random treatment changes in a time-to- event non-inferiority trial.	Stat Med	29	2107 -2116	2010
Ikai I, Kudo M, Arii S, Omata M, Kojiro M, Sakamoto M, Takayasu K, Hayashi N, Makuuchi M, <u>Matsuyama Y</u> , Monden M.	Report of the 18th follow-up survey of primary liver cancer in Japan.	Hepatol Res	40	1043 -1059	2010
Yamamoto K, Imamura H, <u>Matsuyama Y</u> , Kume Y, Ikeda H, Norman GL, Shums Z, Aoki T, Hasegawa K, Beck Y, Sugawara Y, Kokudo N.	AFP, AFP-L3, DCP, and GP73 as markers for monitoring treatment response and recurrence and as surrogate markers of clinicopathological variables of HCC.	J Gastroenterol	45	1272 -1282	2010
<u>松山裕</u>	臨床研究における生物統計学の役割	日本 耳鼻咽喉科 学会会報	113		2010



発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
工藤正俊, 有井滋樹, 猪飼伊和夫, 小俣政男, 神代正道, 坂元亨宇, 高安賢一, 林紀夫, 幕内雅敏, 松山裕, 門田守人	日本肝癌研究会追跡調査委員会. 第18回全国原発性肝癌追跡調査報告 (2004~2005)	肝臓	51	460 -484	2010
Akai H, Kiryu S, Matsuda I, Satou J, Takao H, Tajima T, Watanabe Y, Imamura H, Kokudo N, <u>Akahane M</u> , Ohtomo K.	Detection of hepatocellular carcinoma by Gd- EOB-DTPA-enhanced liver MRI: Comparison with triple phase 64 detector row helical CT.	Eur J Radiol		Epub ahead of print	2010
Matsuda I, Hanaoka S, <u>Akahane M</u> , Sato J, Komatsu S, Inoh S, Kiryu S, Yoshioka N, Ino K, Ohtomo K.	Adaptive statistical iterative reconstruction for volume-rendered computed tomography portovenography: improvement of image quality.	Jpn J Radiol	28 (9)	700 -706	2010
Tajima T, Takao H, Akai H, Kiryu S, Imamura H, Watanabe Y, Shibahara J, Kokudo N, <u>Akahane M</u> , Ohtomo K.	Relationship between liver function and liver signal intensity in hepatobiliary phase of gadolinium ethoxybenzyl diethylenetriamine pentaacetic acid-enhanced magnetic resonance imaging.	J Comput Assist Tomogr	34 (3)	362 -366	2010
Tanaka S, Mogushi K, Yasen M, Noguchi N, Kudo A, Nakamura N, Ito K, Miki Y, Inazawa J, Tanaka H, <u>Arii S</u> .	Gene expression phenotypes for vascular invasiveness of hepatocellular carcinomas.	Surgery	147	405 -414	2010
Aihara A, Tanaka S, Yasen M, Matsumura S, Mitsunori Y, Murakata A, Noguchi N, Kudo A, Nakamura N, Ito K, <u>Arii S</u> .	The selective Aurora B kinase inhibitor AZD 1152 as a novel treatment for hepatocellular carcinoma.	J Hepatology	52	63 -71	2010
Furuta M, Kozaki KI, Tanaka S, <u>Arii S</u> , Imoto I, Inazawa J.	miR-124 and miR-203 are epigenetically silenced tumor-suppressive microRNAs in hepatocellular carcinoma.	Carcinogenesis	31	766 -776	2010
Yoshikawa S, Iijima H, Saito M, Tanaka H, Imanishi H, Yoshimoto N, Yoshimoto T, Futatsugi-Yumikura S, Nakanishi K, Tsujimura T, Nishigami T, Kudo A, <u>Arii S</u> , Nishiguchi S.	Crucial role of impaired Kupffer cell phagocytosis on the decreased Sonazoid- enhanced echogenicity in a liver of a nonalcoholic steatohepatitis rat model.	Hepatol Res	40	823 -831	2010
Tsuji K, Yasui K, Gen Y, Endo M, Dohi O, Zen K, Mitsuyoshi H, Minami M, Itoh Y, Taniwaki M, Tanaka S, <u>Arii S</u> , Okanoue T, Yoshikawa T.	PEG 10 is a probable target for the amplification at 7q21 detected in hepatocellular carcinoma.	Cancer Genet Cytogenet	198	118 -125	2010

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Takayasu K, <u>Arii S</u> , Ikai I, Kudo M, Matsuyama Y, Kojiro M, Makuuchi M; Liver Cancer Study Group of Japan.	Overall survival after transarterial lipiodol infusion chemotherapy with or without embolization for unresectable hepatocellular carcinoma; Propensity Score Analysis.	Am J Roentgenol	194	830-837	2010
Patel S, <u>Saito A</u> , Yoneda Y, Hayano T, Shiratori K.	Comparing enhancement and washout patterns of hepatic lesions between sonazoid-enhanced ultrasound and contrast-enhanced computed tomography	J Med Ultrasonics	37	167-173	2010
齋藤明子	肝細胞癌以外の肝悪性腫瘍 (転移性肝癌を含む)	肝胆膵	60	383-388	2010
Okuhata Y, Maebayashi T, Furuhashi S, Abe K, Takahashi M, Kanamori N, Inoue K, <u>Takayama T</u> .	Characteristics of ectopic pancreas in dynamic gadolinium-enhanced MRI.	Abdom Imaging	35 (1)	85-87	2010
Wang X, Nagase H, Watanabe T, Nobusue H, Suzuki T, Asami Y, Shinojima Y, Kawashima H, Takagi K, Mishra R, Igarashi J, Kimura M, <u>Takayama T</u> , Fukuda N, Sugiyama H.	Inhibition of MMP-9 transcription and suppression of tumor metastasis by pyrrole-imidazole polyamide.	Cancer Sci	101 (3)	759-766	2010
Yamazaki S, <u>Takayama T</u> , Makuuchi M.	The technical advance and impact of caudate lobe venous reconstruction in left liver additional safety for living-related donor liver transplantation.	Transpl Int	23 (4)	345-349	2010
Moriguchi M, <u>Takayama T</u> , Nakamura M, Aramaki O, Higaki T, Nakayama H, Ohkubo T, Fujii M.	Phase I/II study of a fine-powder formulation of cisplatin for transcatheter arterial chemoembolization in hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res	40 (4)	369-375	2010
Fujii M, Kochi M, <u>Takayama T</u> .	Recent advances in chemotherapy for advanced gastric cancer in Japan.	Surg Today	40 (4)	295-300	2010
Shimizu H, Kochi M, Kaiga T, Mihara Y, Fujii M, <u>Takayama T</u> .	A case of spontaneous regression of advanced colon cancer.	Anticancer Res	30 (6)	2351-2353	2010
Ishii Y, Suzuki S, Takahashi Y, <u>Takayama T</u> , Asai S.	Can the 2-(13)C-uracil breath test be used to predict the effect of the antitumor drug S-1?	Cancer Chemother Pharmacol	66 (2)	333-343	2010
Arii S, Sata M, Sakamoto M, Shimada M, Kumada T, Shiina S, Yamashita T, Kokudo N, Tanaka M, <u>Takayama T</u> , Kudo M.	Management of hepatocellular carcinoma: Report of Consensus Meeting in the 45th Annual Meeting of the Japan Society of Hepatology (2009).	Hepatol Res	40 (7)	667-685	2010

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Mitsuka Y, Yamazaki S, Miyakuni T, Iwama A, Funada T, Watanabe Y, Kaiga T, Okada S, Kochi M, <u>Takayama T.</u>	Malignant Peritoneal Mesothelioma Mimicking Ischemic Colitis.	Case Rep Gastroenterol	4 (2)	238-242	2010
Mamiya T, Yamazaki K, Masugi Y, Mori T, Effendi K, Du W, Hibi T, Tanabe M, Ueda M, <u>Takayama T, Sakamoto M.</u>	Reduced transforming growth factor-beta receptor II expression in hepatocellular carcinoma correlates with intrahepatic metastasis.	Lab Invest	90 (9)	1339-1345	2010
<u>Takayama T, Makuuchi M, Hasegawa K.</u>	Single HCC smaller than 2 cm: surgery or ablation?: surgeon's perspective.	J Hepatobiliary Pancreat Sci	17 (4)	422-424	2010
Mazaki T, Masuda H, <u>Takayama T.</u>	Prophylactic pancreatic stent placement and post-ERCP pancreatitis: a systematic review and meta-analysis.	Endoscopy	42(10)	842-853	2010
Ye SL, <u>Takayama T, Geschwind J, Marrero JA, Bronowicki JP.</u>	Current approaches to the treatment of early hepatocellular carcinoma.	Oncologist	15 Suppl 4	34-41	2010
Hayashi Y, <u>Takayama T, Yamazaki S, Moriguchi M, Ohkubo T, Nakayama H, Higaki T.</u>	Validation of perioperative steroids administration in liver resection: a randomized controlled trial.	Ann Surg	253 (1)	50-55	2011
Koyabu M, Uchida K, Miyoshi H, Sakaguchi Y, Fukui T, Ikeda H, Takaoka M, Hirohara J, Nishio A, Uemura Y, <u>Uemoto S, Okazaki K.</u>	Analysis of regulatory T cells and IgG4-positive plasma cells among patients of IgG4-related sclerosing cholangitis and autoimmune liver diseases.	J Gastroenterol	45 (7)	732-741	2010
Hori T, <u>Uemoto S, Takada Y, Oike F, Ogura Y, Ogawa K, Miyagawa-Hayashino A, Yurugi K, Nguyen JH, Hori Y, Chen F, Egawa H.</u>	Does a positive lymphocyte cross-match contraindicate living-donor liver transplantation?	Surgery	147 (6)	840-844	2010
Iida T, Ogura Y, Doi H, Yagi S, Kanazawa H, Imai H, Sakamoto S, Okamoto S, <u>Uemoto S.</u>	Successful treatment of pulmonary hypertension secondary to congenital extrahepatic portocaval shunts (Abernethy type 2) by living donor liver transplantation after surgical shunt ligation.	Transpl Int	23 (1)	105-109	2010
Hori T, Yonekawa Y, Okamoto S, Ogawa K, Ogura Y, Oike F, Takada Y, Egawa H, Nguyen JH, <u>Uemoto S.</u>	Pediatric orthotopic living-donor liver transplantation cures pulmonary hypertension caused by Abernethy malformation type Ib.	Pediatr Transplant	15	e47-e52	2010

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ishii T, Yasuchika K, Suemori H, Nakatsuji N, Ikai I, <u>Uemoto S.</u>	Alpha-fetoprotein producing cells act as cancer progenitor cells in human cholangiocarcinoma.	Cancer Lett	294 (1)	25 -34	2010
Mohamed El Moghazy W, Ogura Y, Mutsuko M, Harada K, Koizumi A, <u>Uemoto S.</u>	Pediatric living-donor liver transplantation for acute liver failure: analysis of 57 cases.	Transpl Int	23 (8)	823 -830	2010
Fujiki M, Esquivel CO, Martinez OM, Strober S, <u>Uemoto S</u> , Krams SM.	Induced tolerance to rat liver allografts involves the apoptosis of intragraft T cells and the generation of CD4(+)CD25(+)FoxP3(+) T regulatory cells.	Liver Transpl	16 (2)	147 -154	2010
Mizuno S, Yokoi H, Shiraki K, Usui M, Sakurai H, Tabata M, Sugimoto K, Takei Y, Yamakado K, Takeda K, <u>Uemoto S</u> , Isaji S.	Prospective study on the outcome of patients with hepatocellular carcinoma registered for living donor liver transplantation: how long can they wait?	Transplantation	89 (6)	650 -654	2010
Kaido T, Takada Y, <u>Uemoto S.</u>	Usefulness of the Kyoto criteria as selection criteria for living donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma.	Liver Transpl	16 (4)	538 -540	2010
El Moghazy WM, Ogura Y, Harada K, Koizumi A, <u>Uemoto S.</u>	Can children catch up in growth after living donor liver transplantation?	Liver Transpl	16 (4)	453 -460	2010
Yamamoto C, Yagi S, Hori T, Iida T, Taniguchi K, Isaji S, <u>Uemoto S.</u>	Significance of portal venous VEGF during liver regeneration after hepatectomy.	J Surg Res	159 (2)	37 -43	2010
Ohsawa I, Murakami T, Guo L, Enosawa S, Ishibashi N, Isaji S, <u>Uemoto S</u> , Kobayashi E.	Chemopreventive anti-cancer agent acyclic retinoid suppresses allogeneic immune responses in rats.	Int Immunopharmacol	10 (8)	985 -989	2010
Iida T, Kaido T, Mori A, Nagata H, Hata K, Koizumi M, Mizumoto M, Ogura Y, Oike F, <u>Uemoto S.</u>	The rare insertion of b4 with trifurcated portal vein in live donor.	Transplantation	89 (9)	1163 -1164	2010
Iida T, Ogura Y, Oike F, Hatano E, Kaido T, Egawa H, Takada Y, <u>Uemoto S.</u>	Surgery-related morbidity in living donors for liver transplantation.	Transplantation	89 (10)	1276 -1282	2010
Hata T, Iwasaki J, Hishikawa S, Fujimoto Y, <u>Uemoto S</u> , Kobayashi E.	Development of a portocaval shunt using a small intestinal segment in rats.	Microsurgery	30 (4)	302 -306	2010
Iwasaki J, Hata T, Hishikawa S, Fujimoto Y, <u>Uemoto S</u> , Murakami T, Kobayashi E.	Use of rat segmental intestine for fetal pancreatic transplantation.	Microsurgery	30 (4)	296 -301	2010